

# ウェアラブルスピーカシステムの開発について； 2016年8月

小型スピーカシステムの開発を別の言葉で表現すると、  
小型でどれだけ低音再生効率の高いスピーカシステムを作るか、に言い換えることができます。

TVや車用のスピーカシステムの小型高性能を追求する中で、一つの目標ができました。  
それは、携帯端末のイヤホンの出力で浪々とした低音を再生できるスピーカを完成させることです。

試作をお願いしている中国のスピーカメーカーからは、これが限界、これが限界、と言われながらも、  
ドライバユニットの改良を進める一方、  
信号処理と第2エッジを組み合わせた総合的な低音振動の、試作－測定－改善 の  
カットアウト作業を 1日1サイクルの ハイピッチで進めることで、大幅な改善ができました。

イヤホン端子 (IPHONE) に接続して、ウェアラブルと言えるサイズで ころうじて実用圏内に達しました。

段階	年	経緯
第1段階	2010	市場で見つけた、高性能の小型スピーカをベースに、改善の試みをスタート 設計仕様でスピーカメーカーに打診するも、組立ができない、と断られるのが続く。
第2段階	2015	組み立てを日本で行う条件で、部品の試作を依頼したが、 なんと、組み立てされて出来上がった 期待の性能にはまだ距離はあるが、なんとか実用になるレベル
第3段階	2016	パイロット商品として、製造販売を模索中。さらなる改良方法を模索中